

## 平成8年度横芝町農作業別標準賃金

平成8年度の横芝町農作業別標準賃金を次のとおり設定しましたので、お知らせします。

| 作業内容              | 賃金           |          | 摘要                                  |
|-------------------|--------------|----------|-------------------------------------|
| 田植                | 男 8,000円     | 女 8,000円 | 1日当り賃金                              |
| 稲刈                | 男 8,000円     | 女 8,000円 | 実労働時間8時間                            |
| 田、畑作業一般           | 男 6,400円     | 女 6,400円 | 2食賄付                                |
| 水田耕起              | 耕耘機 7,000円   |          | オペレーター付                             |
|                   | トラクター 6,100円 |          | 賃作業料金                               |
| 水田代かき             | 耕耘機 7,300円   |          | 10a当り                               |
|                   | トラクター 6,100円 |          | ほ場条件等により適宜調整                        |
| 機械田植              | 7,000円       |          | 10a当り苗費は含まない<br>4条植を基準とする           |
| 機械刈取脱穀<br>(コンバイン) | 17,200円      |          | 10a当り補助者及び乾燥場までのみ運搬は含まない。<br>3条刈が基準 |
| 育苗                | 800円         |          | 硬化まで種もみ代含む<br>1箱当り                  |
| 乾燥から調整            | 2,800円       |          | 1俵当り水分25%もみの場合                      |
| 刈取から調整            | 40,000円      |          | 10a当り                               |
| もみすり              | 500円         |          | 1俵当り                                |
| 畦塗り               | 30円          |          | 1m当り                                |

\* この賃金は標準賃金ですので、ほ場条件等により当事者間において適宜調整してください。

## 春季行政相談強調週間です

この週間は、国民の行政に対する意見・要望を受けて、その解決や実現の促進を図る行政相談制度について、みなさんに広く承知・利用していただため、全国的に行われるものであります。

当町では、総務庁長官から委嘱された行政相談委員が、次のように相談を行っています。

●相談日 午後1時30分～4時  
●相談場所 毎週火曜日  
町中央公民館  
2階(役場隣)



### 文芸

#### 俳句

- 生涯を軍手の母や春田打つ  
並び行く黄帽子の群れ花の舞ふ  
花だより聞けば浮き立つ老の身も  
独り居て人恋ふこころ花の昼  
南房のフラワーロードや黄水仙  
花満ちて天守を空に浮かべけり  
水仙や手漕ぎに渡る蓬島  
下縁に多き古墳や野水仙  
淡雪や赤い手袋ヨチ／＼と  
わだかまりまだ抜けぬ日や黄水仙  
水仙の息吹きの聞こゆ静かさよ  
のぼる日の透く花明り身に浴びる  
選者 山口 一秋
- 勝又 和徳 小林 順子  
岡田 江涯 岩田 栄子  
藤代 ゆう 紙コップ先づ配られて花筵  
若梅あやめ 土屋 栄子  
花満ちて天守を空に浮かべけり  
藤代 ゆう 上棟の終りし庭に木の香りひとつ  
水仙や手漕ぎに渡る蓬島 渡部 静子  
下縁に多き古墳や野水仙 戸村 静華  
淡雪や赤い手袋ヨチ／＼と 関川 友代  
わだかまりまだ抜けぬ日や黄水仙 池田 春江  
水仙の息吹きの聞こゆ静かさよ 宇井 ちい  
のぼる日の透く花明り身に浴びる  
選者 福田 幸子
- 受話器より猫の鳴き声聞えるて独  
り居の母撫でてゐるらし  
八十余年歌詠みつぎし日日思へば  
樂しの一語と百歳の先生
- 吉岡 信子  
萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ  
永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ  
中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり  
鉄筋の校舎となれど小学校の大楠  
いよよ古りて茂れり  
掛川 友代  
上棟の終りし庭に木の香りひとつ  
ままごとの客は我にて遊びしが高  
校生となりたり孫は  
は深し雨の夕べは  
宇井 ちい  
馬鈴薯を作付けせむと烟を打つ鍬  
の運びの去年より重し  
池田 春江  
我が家に鬼は来ないと仮前に福豆  
供へ幸せ祈る  
秋葉 とく  
石井 ユク  
受話器より猫の鳴き声聞えるて独  
り居の母撫でてゐるらし  
八十余年歌詠みつぎし日日思へば  
樂しの一語と百歳の先生
- 選者 斎藤 つね子

### 短歌

残り世のひとと日が暮れて閉づ日記  
縫ひたる傷が少し疼けり

吉岡 信子  
自動ドアのガラス面にうつりた  
る我が影二つに割られてひらく

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ

永藤 滋  
相の墓守り続けし姉も老い子と暮  
さむとふる里を出づ

中越美代子  
百円の安値にひかれ買ひて来し鯖  
の干ものの味は劣れり

萩原 信一  
大総の地名にふさはし楠の木と校  
庭にしばし大樹を仰ぐ